

学 び 楽 し さ 無 限 大 !

自由大学通信

Vol.15 平成19年7月3日発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 武蔵野市吉祥寺本町 2-5-10 TK 吉祥寺ビル 8F
Tel : 0422-20-6340 Fax : 0422-20-6341 <http://www.jiyu-musashino.org/>

武蔵野市寄付講座

募集期間

7/17(火)~7/31(火)

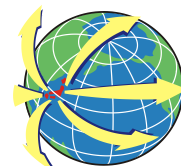
① 武蔵野大学「マイ・ケアプランーケアプランを自分で立てよう！」

9月24日~12月17日(全12回)
毎週月曜日 午前10時40分~12時10分
※10月29日(月)を除く



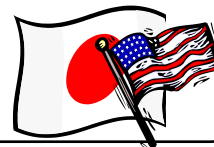
② 亜細亜大学 「現代グローバル論」

9月25日~12月18日(全12回)
毎週火曜日 午後2時30分~4時00分
※10月9日(火)を除く



③ 東京女子大学 「第二次世界大戦後の日米関係と文化摩擦」

9月26日~1月9日(全13回)
毎週水曜日 午前10時55分~12時25分
※12月19日・12月26日を除く



④ 成蹊大学 「思想としてのアメリカ」

9月26日~1月9日(全14回)
毎週水曜日 午後4時30分~6時00分
※12月26日を除く



⑤ 中近東文化センター 「古の世界を振り起こした人々 -情熱と陰の力(その1)」

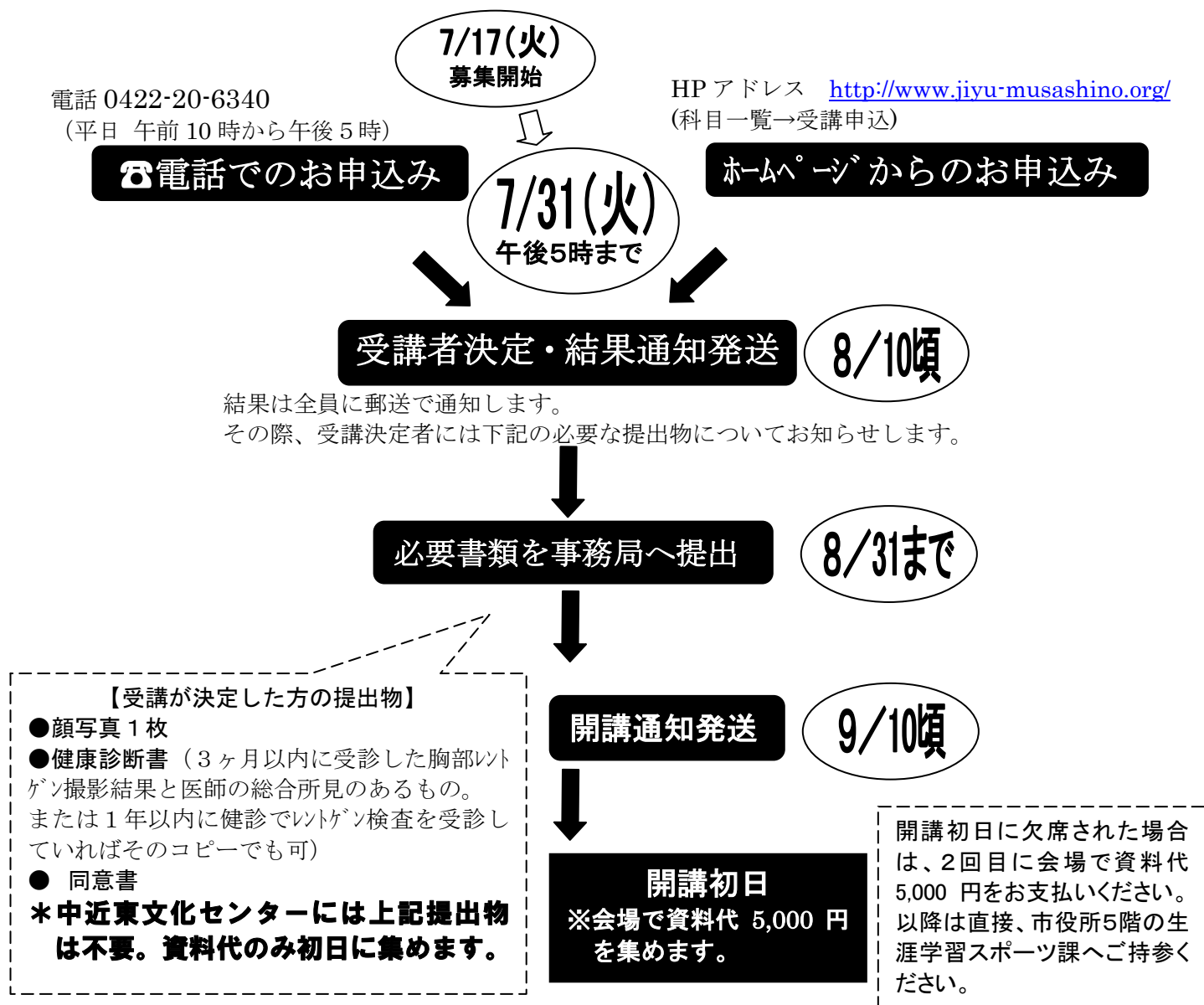
9月1日~1月26日(全11回)
土曜日 午後1時30分~3時00分

全講座共通

申込方法・必要書類

- 対象：武蔵野地域自由大学学生及び18歳以上で市内在住・在勤・在学の方（高校、大学に在学している方は除く）
- 費用：5,000円（資料代）
- 定員：各講座50名（中近東文化センターは100名、越えた場合抽選）
- 受講決定後に必要なもの：顔写真、同意書（受講決定後、こちらから送付致します）
健康診断書コピー（3ヶ月以内に受診した胸部レントゲン撮影結果と医師の総合所見のあるもの）

※自由大学学生の方は、電話およびホームページでお申込みできます。



健康診断書の提出について

大学正規科目履修受付（2月）や、寄付講座受講（3月、9月頃）の際に健康診断書を提出いただいています。これは、学生と同じ教室で受講するにあたって結核の有無と健康状態を確認するためです。ご理解いただきますようお願いいたします。なお、健康診断書は、受講受付時から1年以内に受診した各市・区の健診や会社等の健康診断結果の写し（胸部レントゲン結果と総合所見があるもの）をもって代えることができます。

寄付講座や来年度の正規科目を履修するご予定の方は、年に1度の健康診断（武蔵野市の基本健診の場合は対象が満40才以上の市民で、職場などで健診を受診できない方。受診は誕生日とその翌月の2か月間です。）を受診しておくことをおすすめいたします。

①武蔵野大学 「マイ・ケアプランーケアプランを自分で立てよう！」

コーディネーター：佐藤 信人（武蔵野大学 現代社会学部社会福祉学科 教授）

期 間：平成 19 年 9 月 24 日～12 月 17 日（全 12 回）

曜日・時間：月曜日・午前 10 時 40 分～12 時 10 分

内 容：

介護保険制度のケアプランは、高齢者本人やご家族が作成することもできます（自己作成）。ケアプランは、その内容次第で高齢者本人やそのご家族の生活の質を大きく左右するものですから、ケアマネジャーに全てお任せするべきものではありません。ケアプランを自己作成し「自分の生活は自分で決めていく」姿勢を持つことはたいへん重要です。介護生活を自らのこととして真剣に受け止め、ケアプラン自己作成に挑戦してみましょう。

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座



回	月 日	テ ー マ	講 師
1	9/24 (月)	介護保険制度とマイケアプラン ケアプラン自己作成の位置付け	講義 佐藤信人（武蔵野大学 教授）
2	10/ 1 (月)	人が介護保険制度に出会うとき	講義 小松美智子（武蔵野大学 准教授）
3	10/ 8 (月)	ケアプランを市民が自己作成することの意味	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 講義 全国マイケアプランネットワーク
4	10/15 (月)	ケアプラン自己作成の概要説明 自己作成の経験談	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 講義 全国マイケアプランネットワーク及び自己作成者
5	10/22 (月)	自己作成マニュアル 「あたまの整理箱（介護給付対応）」の解説	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 講義 全国マイケアプランネットワーク
6	11/ 5 (月)	介護給付ケアプラン作成模擬演習	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 演習 全国マイケアプランネットワーク
7	11/12 (月)	自己作成マニュアル 「玉手箱（予防給付対応）」の解説	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 演習 全国マイケアプランネットワーク
8	11/19 (月)	予防給付プラン作成模擬演習	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 演習 全国マイケアプランネットワーク
9	11/26 (月)	参加者自己作成演習	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 演習 全国マイケアプランネットワーク
10	12/ 3 (月)	自己作成体験から発見したことの発表（市民）、 自己作成の体験を踏まえて今後の介護や人生 を考える	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 進行 全国マイケアプランネットワーク
11	12/10 (月)	自律した市民の要請	講義 熊田博喜（武蔵野大学 専任講師）
12	12/17 (月)	まとめ	導入 佐藤信人（武蔵野大学 教授） 演習 全国マイケアプランネットワーク

②亜細亜大学 「現代グローバル論」

コーディネーター：臼井 邦彦（亜細亜大学 経済学部 准教授）

期 間：平成 19 年 9 月 25 日～12 月 18 日（全 12 回）

曜日・時間：火曜日・午後 2 時 30 分～4 時

内 容：

我々の地域社会は、公共部門、民間部門、NPOやその組織の人々などが日常的に行う、さまざまな分野の活動により成立している。

活動分野は、金融・財政改革、公営事業、インフラ整備、自治体経営、NPO・公益法人活動、地域福祉（高齢者福祉・障害者福祉）、健康・食育・環境、医療・年金、文化・芸術、地域独自の義務教育・生涯教育、情報通信事業、道路計画・都市計画・まちづくり、防災・防犯、ニート・フリーター・中高年の就労支援など多岐にわたる。

これらの活動は、近年の少子高齢化、バブル崩壊後の景気停滞、三位一体改革、金融・会計ビッグバン、IT革命、教育改革、公益法人改革などにより、大きな影響を受けており、いずれも国際的潮流や国際標準などのグローバルな視点と、我が国の特性や地域の独自性などのローカルな視点との2つの側面から捉

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座

えることができる。

授業では、上記で例示した諸活動に従事する、10程度の組織ないし専門家を選び、各々の活動を取り巻く最新の情報と課題を講義してもらい、受講生の知識の修得や理解に努める。

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	9/25 (火)	ガイダンス	担当：白井 邦彦 (亜細亜大学経済学部 准教授)
2	10/ 2 (火)	食卓の今 ～地域に根ざす食提案～	小倉 朋子 (食文化と食の総合教室 「食輝塾」主宰・亜細亜大学 講師)
3	10/16 (火)	ブッシュ以後のアメリカと東アジア	浅川 公紀 (武蔵野大学現代社会学部 教授)
4	10/23 (火)	杉並区の教育改革について	井出 隆安 (杉並区教育委員会 教育長)
5	10/30 (火)	現代のコミュニティについて	和田 佐英子 (宇都宮共和大学 准教授)
6	11/ 6 (火)	人口減少社会の都市再生を考える	菊池 威 (亜細亜大学経済学部 教授)
7	11/13 (火)	温泉の新しい活用による温泉地の活性化	杉本 鍊堂 (天城流湯治法湯治司・ 静岡県地域づくりアドバイザー)
8	11/20 (火)	日本の政治を経済学的に考える～公共選択論 によるアプローチ～	飯島 大邦 (中央大学経済学部 准教授)
9	11/27 (火)	これからの働き方暮らし方 ～欧米と日本のワーク・ライフ・バランス～	権丈 英子 (亜細亜大学経済学部 准教授)
10	12/ 4 (火)	カネボウ、ライブドアの粉飾決算事件とその 影響	中村 元彦 (公認会計士)
11	12/11 (火)	地域のモビリティを守る取り組み	佐藤 信之 (千葉県印西市地域交通 委員会委員・亜細亜大学 講師)
12	12/18 (火)	学習成果発表と市民聴講生修了式 市民聴講生の希望者による発表	担当：白井 邦彦 (亜細亜大学経済学部 准教授)

③東京女子大学 「第二次世界大戦後の日米関係と文化摩擦」

授 業 担 当：油井 大三郎 (東京女子大学 現代文化学部地域文化学科 教授)

期 間：平成 19 年 9 月 26 日～平成 20 年 1 月 9 日 (全 13 回)

曜 日・時 間：水曜日・午前 10 時 55 分～12 時 25 分

内 容：

自由大学履修対象講座
9 回以上出席で 1 講座

第二次世界大戦後の日本は米軍の占領下で非軍事化や民主化など様々な改革を体験した。この占領改革には米国モデルの導入という「外からの改革」という側面と同時に、日米文化の融合という面もある。そこで、様々な占領改革の事例をとりあげ、文化の摩擦・融合過程としての占領期の歴史的意義を検討してみたい。

回	月 日	テ ー マ
1	9/26(水)	序-1 占領改革の比較文化史的研究とその意義
2	10/ 3(水)	序-2 比較文化研究の方法
3	10/10(水)	第 1 章 占領改革の基本的特徴 第 1 章-1 無条件降伏と対日占領構想
4	10/17(水)	第 1 章-2 憲法改正-9 条と象徴天皇制の間
5	10/24(水)	第 1 章-3 占領改革と女性解放
6	10/31(水)	第 2 章 占領下の経済改革 第 2 章-1 農地改革の意義
7	11/ 7(水)	第 2 章-2 労働改革と労働組合運動の高揚

8	11/14(水)	第2章-3 財閥解体とその挫折
9	11/21(水)	第3章 米ソ冷戦と逆コース 第3章-1 逆コースと追放解除
10	11/28(水)	第3章-2 サンフランシスコ講和条約と第二の脱亜
11	12/5(水)	第3章-3 高度経済成長と「アメリカニゼーション」
12	12/12(水)	第3章-4 石油危機後の低成長と日米貿易摩擦
13	1/9(水)	終章

④成蹊大学 「思想としてのアメリカ」

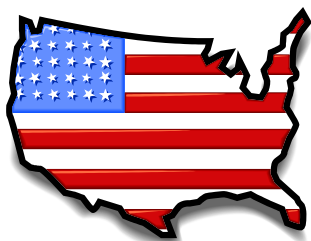
コーディネーター：西崎 文子（成蹊大学 法学部 教授）

期 間：平成19年9月26日～平成20年1月9日（全14回）

曜日・時間：水曜日・午後4時30分～6時

内 容：

自由大学履修対象講座
10回以上出席で1講座



1776年、独立を控えたアメリカ植民地人に向かい、トマス・ペインは「われわれはもう一度世界をつくり直すことができる」と宣言した。しかし、絶対王政による抑圧からの解放を理念に掲げて誕生したアメリカが、その後見せた姿は両義的なものであった。奴隷制の存続が南北戦争という血みどろの内戦へと帰着する一方で、急速に発達したデモクラシーは、その可能性と危険性との両面を世界に知らしめることになった。自由や民主主義の追求を外交目標として掲げるアメリカは、同時に軍事力による版図の拡大と影響力の増大とに貪欲な国家でもあった。アメリカの歴史は、矛盾に満ち溢れていたのである。

この講座では、「思想としてのアメリカ」の姿を、アメリカの歴史と、アジアやヨーロッパにおけるアメリカ像の変遷との両面から探っていく。世界史から見た建国思想の意義、資本主義の発展、近代化するアジアとの遭遇、知識人たちのアメリカ像と歴史認識—このようなテーマを検討することによって、アメリカのみならず現代世界の直面する問題を幅広く考えていくことにしたい。

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	9/26(水)	アメリカ・ナショナリズム—アメリカという国家の成り立ち	古矢 旬 (北海道大学法学部)
2	10/3(水)	アメリカと世界—アメリカという国家のふるまい	
3	10/10(水)	ジョン・ロックとアメリカⅠ：ロックにおけるアメリカ像	加藤 節 (成蹊大学法学部)
4	10/17(水)	ジョン・ロックとアメリカⅡ：アメリカ独立革命とロックの政治思想	
5	10/24(水)	ウェーバーとアメリカⅠ：資本主義精神の起源をめぐって	亀嶋 庸一 (成蹊大学法学部)
6	10/31(水)	ウェーバーとアメリカⅡ：政治と宗教をめぐって	
7	11/7(水)	近代日本とアメリカⅠ：「出会い」のもたらしたもの	宮村 治雄 (成蹊大学法学部)
8	11/14(水)	近代日本とアメリカⅡ：「パトリオティズム」をめぐって	
9	11/21(水)	容コウから胡適まで—ヤング・チャイナとアメリカ	村田 雄二郎 (東京大学教養学部)
10	11/28(水)	中国革命の中のアメリカ像—孫文と毛沢東	
11	12/5(水)	思想と「文化」Ⅰ：思想としての「文化概念」 —文化人類学と多文化主義の源流	生井 英考 (共立女子大学国際学部)
12	12/12(水)	思想と「文化」Ⅱ：技術思想と写真術	
13	12/19(水)	国際関係思想の中のアメリカⅠ：第一次大戦から第二次大戦まで	西崎 文子 (成蹊大学法学部)
14	1/9(水)	国際関係思想の中のアメリカⅡ：冷戦からポスト冷戦へ	

⑤中近東文化センター「古の世界を掘り起こした人々―情熱と陰の力(その1)」

期 間：平成19年9月1日～平成20年1月26日(全11回)

曜日・時間：土曜日・午後1時30分～3時

内 容：

発掘を行い、出土したものを整理し、古代を復元することが考古学者の一つの仕事であるが、なかには一つの遺跡に全人生をかける場合もある。トロイを発掘したシュリーマンのように大成功を取めたものもいれば、報われないまま遺跡を去った者も数多くいた。

今回はその第1回目として、11人の学者をとりあげ、何が彼らをそこまで強く発掘に向かわせたのかを、彼らを陰で支えた人たちにも光を当てながらみていきたい。

自由大学履修対象講座
8回以上出席で1講座

回	月 日	テ ー マ	講 師
1	9月1日	まず歩くことだ - 生きた歴史地図の創造を目指した考古学者、ヨハナン・アハロニ	池田 裕 (中近東文化センター常務理事)
2	9月15日	ファラオの階段を昇って - 日本人として初めてエジプトを発掘した考古学者、川村喜一	近藤 二郎 (早稲田大学エジプト学研究所所長)
3	9月29日	東アジアから西域へ - 陶磁の道を追い求めた研究者の素顔、三上次男	宇都木 章 (青山学院大学名誉教授)
4	10月6日	指揮官は真夜中に遺跡の周りを歩く - 戦場でも学問を続けることを教えた考古学者、イガエル・ヤディン	池田 裕 (中近東文化センター常務理事)
5	10月20日	本日休講。ただし用のある者は発掘現場に来れ！ - 新しい学問を創る喜びを教えた考古学者、ベンジャミン・マザール	
6	11月17日	赤土の中からの発見 - 一生涯を日本の旧石器時代に捧げた在野の人、相沢忠洋	関矢 晃 (日本考古学協会会員)
7	11月24日	ユーラシアを駆ける - 現場に始まり、現場に生きた考古学者、江上波夫	脇田 重雄 (古代オリエント博物館研究員)
8	12月1日	縄文土器は語る - 日本先史考古学の父、山内清男	高橋 龍三郎 (早稲田大学先史考古学研究所所長)
9	12月15日	古代への情熱 - 古代都市トロイを探し続けた商人、ハインリッヒ・シュリーマン	大村 幸弘 (中近東文化センター アナトリア考古学研究所所長)
10	1月12日	最後まで遺跡に立ち続けた考古学者 - 世界最古の商業都市発掘、タフスィン・オズギュッチ	
11	1月26日	わずか一枚の粘土版を追い求めた言語学者 - コンヤ・カラホック遺跡を掘り続けたトルコ人、セダット・アルプ	

注：講義の日程は変更することがあります。

武蔵野地域自由大学事務局(交流センター内)

E-mail jiyu-musashino@nifty.com

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町2-5-10

TK吉祥寺ビル8階 吉祥寺駅北口徒歩7分

Tel 0422-20-6340 Fax 0422-20-6341

月曜～金曜 10時～17時

